

岩手県曹洞宗青年会
会長 新沼 孝純

佛紀二五七七年を迎え、
謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

岩曹青の会長として早一
年が経とうとしております。
昨年中の青年会活動に対し
まして、賛助会員老師をはじめ、県内各ご寺院様、会
員諸師、協力団体・個人の
皆様のご理解とご協力を賜
りましたことに厚く感謝致
し、御礼を申し上げます。

昨年十一月十日に仙台市
で開催されました東北地方
集会「宮城大会」に於いて
は、多くの当会会員の参加

年頭のご挨拶

岩手県曹洞宗青年会
会長 新沼 孝純

佛紀二五七七年を迎え、
謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

岩手県曹洞宗青年会
会長 新沼 孝純

佛紀二五七七年を迎え、
謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

曹青 通信

い わ て

発行者
岩手県曹洞宗青年会
新沼 孝純

発行所
岩曹青事務局

〒028-1101
岩手県上閉伊郡大槌町内
吉里吉里4-4-7吉祥寺内
TEL: 0193-44-2318
FAX: 0193-44-2331
題字/宗務所長 海野義清老師
編集/事業部
印刷/竹村印刷所



12月9日 軽米町社会福祉協議会にて

協力があり、各々研鑽を積
んで頂きました。本年は十
月二十日に青森県に於いて
開催の予定です。積極的な
参加協力をお願ひ致します。

米町は平成十一年十月二十
日に遭われ、當時会長を務め
が出来ました。軽
くかし当日は曇りな
がら寒さも気にな
らず一心に歩く事
が出来ました。軽
ております「聞いてわかる
檀信徒法要回向集」の改訂
増刷が決まり、八月二十五
日の教養セミナー後改訂第
五版編纂委員を組織し、九
月六日奥州市プラザイン水
沢に於いて、高橋哲秋老師、
熊谷光洋老師、佐藤則元老

職をつとめられて
いる、十二教区徳
楽寺様を会場に軽
米町内にて歳末助
け合い寒風托鉢を行
い、会員諸師・
賛助会員老師、四
十一名のご参加を
いただきました。

前日の天気予報では
は高確率で雨、し
かし当日は曇りな
がら寒さも気にな
らず一心に歩く事
が出来ました。軽
ております「聞いてわかる
檀信徒法要回向集」の改訂
増刷が決まり、八月二十五
日の教養セミナー後改訂第
五版編纂委員を組織し、九
月六日奥州市プラザイン水
沢に於いて、高橋哲秋老師、
熊谷光洋老師、佐藤則元老

親を深めることが出来ま
した。十二教区の皆様には大
変お世話になりましたこと
を心より御礼申し上げます。
さて昨年、当会が発行し
ております「聞いてわかる
檀信徒法要回向集」の改訂
増刷が決まり、八月二十五
日の教養セミナー後改訂第
五版編纂委員を組織し、九
月六日奥州市プラザイン水
沢に於いて、高橋哲秋老師、
熊谷光洋老師、佐藤則元老

最後に、本年は東北地区
連絡協議会会長に選出され
た稻田泰久師を中心に第十
八期地協執行部が始動致し
ます。当会も共に青年会発
展の為に精進して参りたい
と存じます。各会員宗師も、
宜しくご協力お願ひ申し上
げます。

ます。今はその痕跡も目に
することなく、穏やかに流
れる川を眺めながら、大勢
の地元の皆様からの淨財を
お受けいたしました。集ま
りました淨財10万9千6百
66円は全額、地元の社会福
祉協議会へお渡ししてまい
りました。その後、八戸に
場所を移し忘年会を開催い
たしました。会場には、十
二教区長老師をはじめ、贊
助会員老師の出席を仰ぎ、
前会長平栗壽隆師よりご挨
拶を頂戴した後、楽しく懇
親を深めることが出来ま
した。十二教区の皆様には大
変お世話になりましたこと
を心より御礼申し上げます。
さて昨年、当会が発行し
ております「聞いてわかる
檀信徒法要回向集」の改訂
増刷が決まり、八月二十五
日の教養セミナー後改訂第
五版編纂委員を組織し、九
月六日奥州市プラザイン水
沢に於いて、高橋哲秋老師、
熊谷光洋老師、佐藤則元老

師、瀬川一矢老師、そして
私と事務局次長渡邊博三師
の六名で改訂作業に入り、
その後数回の調整をはかつ
て昨年末作業を終了し印刷
をお願いして本年度無事完
成発行に至りました。編纂
委員の各ご老師におかれま
しては、難しい作業を丁寧
に根気よく続け、最後まで
ご尽力頂きまして誠に有難
う御座いました。ぜひとも
会員諸師にはひとつ参考
書としてお使い願えればと
思います。

合掌



淨財109,666円

12月9日、12教区軽米町 德楽寺様を会場に平成22年度歳末助け合い寒風托鉢が行われました。県内各地より会員宗師41名が集まり、天候に恵まれた中軽米町内を2時間に亘って歩き、皆様からのお心からの淨財109,666円をお預かりいたしました。即日この淨財は軽米町社会福祉協議会へと寄付させていただきました。

徳楽寺様をはじめ、12教区の皆様そして軽米町の皆様、本当にありがとうございました。

歳末助け合い寒風托鉢

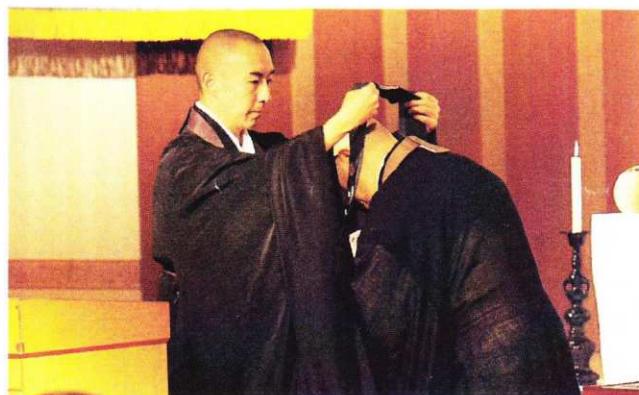


去る平成二十二年十一月
十日、仙台サンプラザに於
いて開催された第三十五回
曹洞宗青年会 東北地方集
会「宮城大会」のご報告を
させていただきます。今年
度は宮城県曹洞宗青年会創
立四十周年記念大会も併催
され、「われはほとけになら
ずとも」というテーマにお
いて記念講演講師に水谷修
氏においていただき、岩
手県からは三十名が、また
東北各県より百五十名の青
年僧が一堂に会しての開催
となりました。

常任幹事会終了後、記念
式典が行われ宮城県曹青門
脇昌文会長より、東北地協
橋山武浩会長を介して次年
度開催県である青森県の金
山晃道会長へと紹介の伝達
が為されました。

その後会場を移し、「夜回
り先生」などの異名を持つ
水谷修氏による講演会が行
われました。

水谷氏は夜回り活動を始
めるにあたつた理由、そし
てそれからの経緯などを活



旅行のことならなんでもご相談下さい
お電話いただければ係員がおうかがいします

OSHOKA TOURS アジヨカツワーズ

株式会社 岩手ビーエス観光

岩手県知事登録第2-86号 JATA協力会員
岩手県旅行業協会会員

〒020-0016 盛岡市名須川町31-5
TEL (019) 635-0303
FAX (019) 635-0019

みちのく曹洞宗の古刹

奥の正法寺

〒023-0101 岩手県奥州市水沢区黒石町字正法寺129
TEL: 0197-26-4041 / FAX: 0197-26-4107

仏事専門の
セレモニーホール
だからこそ
サービスがあります

0197-35-5533

北上・江刺・水沢
葬祭センター

孝輝殿

こう き てん
奥州市江刺区愛宕字大畠98-2

東北地方集会「宮城大会」

動のエピソードを
交えて語り、学
校・家庭が近年子
供たちの心が休ま
る場所ではなく
なつて来ているの
だとして、我々大
人たちに家庭内に
おいて子供達に優
しい言葉をかけて
あげて欲しいと訴
えかけていました。
優しい言葉、慈し
みを持つた慈愛の
言葉とは、四攝法

の愛語に大いに通じるので
はないでしょうか。
そのほか、水谷氏は青年
会宗侶に對しては「心が安
らぐ場所としてのお寺作り
をしてもらいたい。そして、
夜の街にしか逃げ場の無い
子供達にお寺を開放してあ
げてほしい」と提案し、
我々宗門寺院が今後この問
題にどのように関わって行
くべきなのか改めて考える
機会となつたのではないか。
と思います。

葬儀、御法事、仏壇、仏具の御相談は
**アーバンメモリアルホール
大船渡**

岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森35-17
TEL 0192-26-4600
FAX 0192-26-5389

互助会
新規会員
募集中

Banquet & Bridal
SUNPLAZA OIZEN

<http://www.oizen.com>

サンプラザ及善

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字町221
TEL: 0191-52-2432 FAX: 0191-52-4660

「門前的小僧 習わぬ…」

岩手県曹洞宗青年会

副会長 千田 康道

思い起こせば私が精進料理に出会いましたのは、短い地方僧堂での安居を終え師寮寺へ戻りました際、ご縁がありまして奥の正法寺様へ出入りをさせていただきました事に始まります。その頃、正法寺様では参籠・参拌の方々へ正法寺塗りのお膳と器で本格的な精進料理をお出ししております。典座寮は典座渡辺春覚老師、副典谷本俊昭老師、大場浩俊老師、故高倉公淳老師、徳山伸一禪兄と言うそうそうたる方々がおいでになりました中、初めは雲水さん方と一緒に器やお膳といつた漆器類の取り扱い方やら会場準備、片付け、掃除の仕方を御指導頂き、

年緑蔭禅の会場でしたので自然とお手伝いをさせて頂いておりました。以来、緑蔭禅では典座係、典座として長く随喜させて頂きました。

私が典座を務めさせて頂く中で注意をしていた点がいくつか有ります。一つ目は衛生面には最大限の注意をおく事、もし食中毒が発生してしまったら随喜衆、参禅者共に緑蔭禅どころではなくなつてしまいますので。二つ目には食材を無駄にせず経費を削減し出来るだけ美味しい料理を作る事。食べ物に対する感謝の念を忘れる事なく、出来るだけ食べ残し、生ゴミとして廃棄したくないと言う思いと私は高価な食材を扱いきれませんでしたので、家庭で

普段食べ慣れた食材を中心とする事でバリエーションを増やして行きました。三つ目は食材という命と対するにあたって真剣に相対する事。今更ですが私どもは生きるために他の命を頂いています、その命に対しても生懸命に手を加え料理という命に変化させるためには食材に敬意を払い一つ一つの工程に手間を惜しまず注意を怠らず、もし面倒だという気持ちが起きてきいたら食べて下さる方々の顔を思ひ浮かべる事。四つ目は精進料理は一人では作り出せないものですから和合僧の氣持ちを大切に。当然の事ながら法要と同じく実に多くの方々の手をお借りして初めて作り出す事ができる

時代が変わり厨房に入り包丁を振るう諸禪兄、諸師も大勢いらつしやるかと思ひます。

陸中海岸国立公園
陸中海岸の靈場
釜石大観音

釜石市大平町釜石大観音 ☎ 0193-24-2125
釜石市大只越町石応禪寺 ☎ 0193-22-4080

最後に、数年に渡つて典座を勤めさせて頂き貴重な体験が出来ましたのも、典座系として随喜頂きました多くの諸禪兄、諸師のお力添えが有ればこそでした、心より御礼申し上げます。

いますが、未経験の方はぜひ体験頂ければと思います。乱暴な言い方ですがどんな著名な料理人でも料理を作る際にやっている事は切炒める・煮る・焼く・揚げる・

と。今更ですが私どもは生きるために他の命を頂いています、その命に対しても生懸命に手を加え料理といふ事で、家庭のお台所を預かる方にとつては日常の事ですね。そこには誰かの為に心を込め一生懸命に調理にあたるのであれば食材の種類に関わらずでき上がったものは精進料理だとおもいます。

それは言葉と同じように誰かを勇気づけることも、優しく包み込み癒す事も出来ると思います。

真心込めてお世話させていただきます

有限会社 那須野葬祭社

〒029-0603
岩手県一関市大東町沖田字向山39-3
TEL: 0191-74-3199 FAX: 0191-74-3533

梅花流詠讃歌について

岩手県曹洞宗青年会

副会長 清水 昌俊

「梅花流」は丹羽仏庵老
師（静岡県洞慶院住職）が、
一九五二（昭和二十七）年
の高祖道元禅師七百回大遠

忌の記念事業として、曹洞
宗の新たな布教伝道の方法
となる御詠歌講の創設を宗
務庁に対して進言され、各
流派の組織や運営方法、御
詠歌を聞き、歌詞を制定す
る委員会の開催を経て創立
されました。「梅花流」と
いう流名は、両祖さまが特
に梅花を愛でられ、梅花と
春の関係を用いて、精進を
重ね仏道修行に邁進するこ
とこそが尊いのであり、そ
のものであると説かれてい
るのに因み名付けられまし
た。

「梅花流」には三つのお
高階龍仙禅師が「歌声に
仮まします梅花流」と詠ま
れていますが、これは春
が梅を咲かせるのではなく、
おもに因み名付けられまし
た。

誓いがあります。お誓いと
は誓願であり、精進であり、
願生です。

私は梅花流詠讃歌を通
して正しい信仰に生きます。

私は梅花流詠讃歌を通
して仲よい生活（くらし）を
いたします。

私は梅花流詠讃歌を通
して明るい世の中をつくり
ます。

正しい信仰とは、仏祖の
教えを梅花流詠讃歌を通し
て、正師のもとで学び、精
進し、実践していくこと。
仲よい生活（くらし）と
は、互いに人格を尊重し、
日々の生活の中で慈悲心を
もつて、同行同修の努めを
果たしていくこと。

梅花流指導必携では、詠
唱のこころを次のように説
いておりました。

「詠讃歌は仏徳賛歎の音
樂であるので、法悦・感
謝・報恩の念をもつて心清
淨・身端正にお唱えしなけ
ればならない。声の美麗や
節の巧妙を誇ることなく、
初心を忘れず、同修を旨と
し、自己の研鑽に努めるべ
きである。」

明るい世の中とは、他の
人の為に菩薩行を実践し、
一人ひとりが会い和して生
活していくことです。

作法の型や技術が必要では
あります。しかし、それだけにと
らず、「譜にあらず、節にあら
ざず、声ならず。詠歌の道は

佛教を学び実践する真摯な
精進修行、そして詠道への
精進が、この世界を「春
（仏国土）」にするという
精神そのものであります。

お誓いは仏教徒としての
精神そのものであります。

「私の信仰宣言」であり、
この心を常に持ち続け、
日々精進していきたいもの
であります。

梅花流指導必携では、詠
唱のこころを次のように説
いておりました。

「詠讃歌は仏徳賛歎の音
樂であるので、法悦・感
謝・報恩の念をもつて心清
淨・身端正にお唱えしなけ
ればならない。声の美麗や
節の巧妙を誇ることなく、
初心を忘れず、同修を旨と
し、自己の研鑽に努めるべ
きである。」

導いたいた師範老師の
方々をはじめ、同行同修の
お仲間とのご縁を頂戴し励
まされ、なんとかここまで
やつてまいりました。これ
こそ「大衆の威神力」でござ
ります。今は宗務所の指
導者養成講座や、岩手県師
範会で初心者向けの講習を
開講しておりますので、少
しでも興味をお持ちであれ
ば、ぜひ受講していただき
たいと思います。

その奥にあり「仏祖正伝の
教えにしたがって行じる詠
唱の姿は、まさしく「仏作
仏行」であるということを
忘れてはなりません。
最後になりますが、梅花
流詠讃歌というと、とつ
きにくいかもしれません。
私も最初は、気はすかしい
やら、難しいやらで、何度も
も諦めかけましたが、ご指
導いたいた師範老師の
方々をはじめ、同行同修の
お仲間とのご縁を頂戴し励
まされ、なんとかここまで
やつてまいりました。これ
こそ「大衆の威神力」でござ
ります。今は宗務所の指
導者養成講座や、岩手県師
範会で初心者向けの講習を
開講しておりますので、少
しでも興味をお持ちであれ
ば、ぜひ受講していただき
たいと思います。

青年会会員諸兄、寺族様
方、そして檀信徒の皆様、
ぜひ私達と一緒に詠道精進
いたしましょう。

合掌



株式会社 あ お や ぎ

本社 〒029-0523 岩手県一関市大東町指沢字八幡前15-1
TEL 0191-75-3000㈹
FAX 0191-75-2629

【葬儀・仏事の事ならお任せください】

や お たつ ほ う おん しや

(有)八百辰報恩社

葬祭会館 翠蓮 - SUIREN -

岩手県一関市大東町大原字一六五2
TEL 0191 (72) 2150 / FAX 0191 (72) 2188

～故人を偲ぶ大切なひとときを
真心こめてお手伝い致します～



平成二十三年二月二十二日、盛岡市報恩寺様を会場に第二回教養セミナーが大本山永平寺顧問報恩寺住職天藤全孝老師を講師にお迎えして開催されました。開講式が当会会長導師のもと法堂において執り行われ、天藤老師に「晋山結制の心得」というテーマで講義をしていただきました。



講義の中で天藤老師は信仰の為の「塔」、教育の為の「堂」、教化の為の經營をする「庫」の三つが揃つていなければ「寺」とはいえず、その「寺」としての北とは山であり、晋山へ晋（すす）むということは「寺」に入ること同義なのだとして、その後は実際の差定を例にとり微細にわたつての講義となり、当日聴講に訪れた会員諸師四十三名が耳を傾けました。

教養セミナー 「晋山結制の心得」

釜石セレモニーサービスセンター
有限公司 三浦葬儀社

仏壇・仏具・生花・盛籠

釜石店 釜石市松原町3丁目3番10号
電話 0193-22-3660代
FAX 0193-22-3667番

ご葬儀と佛事のご相談は
株式会社 八重樫葬具店
仏壇と花・葬具の専門店
北上市大通り4丁目7-2 ☎63-2125代
☎63-3058
☎63-6311(FAX)

先祖の供養は子孫の繁栄

岩優石の
(岩手県優良石材店)

(有) 佐々木石材

奥州市水沢区水沢工業団地内(旧火葬場通り)
TEL水沢(24)1333・夜間 水沢(23)4555



名勝 げいび溪



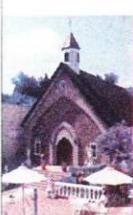
～げいび溪遊覧船案内所～
バスターミナル(食事・お土産)

(有) げいび観光センター
(有) げいびレストハウス

岩手県一関市東山町長坂字町376
予約センター ☎0191(47)2341・3355
FAX 0191 (47) 3288

北上
靈柩 高橋葬儀社

〒024-0062
北上市鍛冶町一丁目4-57
TEL 0197-63-2823 FAX 0197-63-2848
フリーダイヤル 0120-55-2823



Palace Suzuki MARIAGE
パレス・スズキ マリアージュ
ル・アンジュ

〒029-0803 一関市千厩町千厩字石堂26-5
TEL 52-5700 FAX 52-5611

教区便り

第一教区

我々一教区は「一九会」という青年会を通じ各法要研修・托鉢等の活動を定期的にさせていただいている。年々、若い青年僧も

師寮寺におもどりになり以前にも増して活気に溢れよい雰囲気の中、互いを高め合っていると感じられます。

岩曹青に於きましても、近年教区内会員が増え活発的に会の企画等に参加している状況です。「一九会」同様に、今後も岩手県の青年僧として同事の心を持ち活動を続けて参りたいと思つております。

第一教区

去る一月十三日、盛岡市瀧源寺住職下斗米宗智師が遷化されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

二戸市明光寺徒弟、佐々木泰賢禪兄（二十六歳）が本会の正会員として入会いたしました。本会諸兄老師のご指導を宜しくお願ひいたします。

新会員入会



第二教区

去る十一月十一、十二日の両日に渡り二戸市龍巖寺様に於いて、岩館泰道老師の退転式並びに岩館尚文老師の晋山結制が法類、教区寺院多数随喜の中厳修されました。

第四教区

去年、西和賀町沢内の玉泉寺様に於いて春期両祖忌法要、花巻市北笠間の東光寺様に於いて秋期両祖忌法要が厳修されました。

去る六月二十五日～二十一日



寺様（熊谷忠興住職）に於いて、本堂再建二百年を記念し、晋山結制及び南澤道人副貫首老師を戒師に迎え

ての法脈会が厳修されました。県内外より百五十人を超える御寺院様、並びに百人余の戒弟が集まる大法要

となりました。

また十二月十五日、花巻

市東和町土沢に於いて有志による歳末助け合い托鉢を行いました。多くの方より

淨財が寄せられ、花巻市社会福祉協議会東和支部に全額寄付させていただきまし

た。

ボウリング親睦会では二十数名の参加を頂き、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。ボウリング親睦会終了後、水沢グランドホテルを会場に懇親会を開催。日頃からお世話になつております教区賛助会員様を始め、

第五教区

昨年当会正会員的叟寺住職 渡邊泰裕師が、同じく

寶積寺副住職 藤村貴泰師がそれぞれご結婚されました。

また、昨年十二月には恒

例の歳末托鉢が行われました。生憎の空模様でしたが、温かい励ましのお言葉をいたしました。ここに感謝と共に御礼申し上げます。

最後に今年度より、西岩寺徒弟横合大宣禪兄が新会員となりました。ご指導宜しくお願ひします。

第七教区

また、昨年十二月には恒例の歳末托鉢が行われました。生憎の空模様でしたが、温かい励ましのお言葉をいたしました。

去る四月三十日～五月二日、寶持寺様に於いて村上國城師の晋山結制並びに本葬が厳修されました。

去る六月五日、六日、長泉院様に於いて鈴木道将師の晋山結制並びに本堂諸堂落慶が厳修されました。

ボウリング親睦会では二十数名の参加を頂き、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。ボウリング親睦会終了後、水沢グランドホテルを会場に懇親会を開催。日頃からお世話になつております教区賛助会員様を始め、

第八教区

去る五月二十九日、三十日両日、東山町安養寺（佐藤則元住職）様において結制・開山四百回忌歴住報恩供養法要が、また九月十二日、東山町宗松寺（糸坪龍道住職）様において、晋山・退転・開山歴住忌法要が厳修されました。

両法要とも、多くの御寺院様・関係者各位のお力添えにて無事円満いたしました。

去る十一月二十四日、千厩町大光寺東堂 千葉法道老師が遷化されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

第九教区

去る六月二十五日、釜石市石應禪寺様に於いて同寺十七世雲汀晴朗大和尚の密葬の儀が厳修されました。

去る一月二十一日、遠野市光岸寺様に於いて同寺十八世玄方秀齋大和尚の密葬の儀が厳修されました。

登諷經を行い、講師の正音催いたしました。本堂で拝詠していただき、その後講話していただき、その後講

によるパソコン講習会が、

師さんを交え意見交換会をおこないました。研修会終了後の、懇親会では和やかな雰囲気の中楽しい時間を過ごしました。

十二月七日恒例の歳末助け合い托鉢が陸前高田市無極寺様を出着点として、会員五名参加のもと行われました。師走の肌寒い中沿道には大勢の皆様が集まり、心温まる善意の净財をいたしました。ありがとうございました。お預かりした

净財は、陸前高田市社会福祉協議会に全額寄付させていただきました。

去る十一月二十四日、千厩町大光寺東堂 千葉法道老師が遷化されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

第十教区

去る六月二十五日、釜石市石應禪寺様に於いて同寺十七世雲汀晴朗大和尚の密葬の儀が厳修されました。

去る一月二十一日、遠野市光岸寺様に於いて同寺十八世玄方秀齋大和尚の密葬の儀が厳修されました。

登諷經を行い、講師の正音催いたしました。本堂で拝詠していただき、その後講話していただき、その後講

によるパソコン講習会が、

十月十八日遠野市あえりに於いて二戸市聖福院住職成島伸龍師を講師としてお招きして開催されました。

第十一教区

平成二十二年七月三日、岩泉町不昧庵様において佐々木俊英師晋山式、ならびに九世孝順大和尚（世寿八十一歳）の本葬・小祥忌法要がとりおこなわれました。

七月四日には宮古市の華嚴院三十三世晴山義胤東堂老師（世寿九十八歳）が遷化され、九月十四日に本葬儀がおこなわれました。

去る十一月二十四日、千厩町大光寺東堂 千葉法道老師が遷化されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

第十二教区

去る六月二十五日、釜石市石應禪寺様に於いて同寺十七世雲汀晴朗大和尚の密葬の儀が厳修されました。

去る一月二十一日、遠野市光岸寺様に於いて同寺十八世玄方秀齋大和尚の密葬の儀が厳修されました。

登諷經を行い、講師の正音催いたしました。本堂で拝詠していただき、その後講話していただき、その後講

によるパソコン講習会が、

また、教区寺院持ち回りの両祖忌法要が十月二十五日に岩泉町の洞岩寺様にて厳修されました。

第十二教区

二月四日、長圓寺三世中興玉峰龍山大和尚が遷化され、五月二十五日、二十六日に晋山結制・本葬儀が厳修されました。

三月二十七日、八戸にて実相寺様の結婚披露宴が行われました。

六月十九日、二十日、徳樂寺様にて晋山式・本葬儀・休廣忌法要が厳修されました。

去る六月二十五日、釜石市石應禪寺様に於いて同寺十七世雲汀晴朗大和尚の密葬の儀が厳修されました。

去る一月二十一日、遠野市光岸寺様に於いて同寺十八世玄方秀齋大和尚の密葬の儀が厳修されました。

登諷經を行い、講師の正音催いたしました。本堂で拝詠していただき、その後講話していただき、その後講

によるパソコン講習会が、

総合葬祭・仏壇仏具・神具・花環・生花・盛籠・宮型靈柩

メモリアルセレモニー

藤沢

柳斎場

柳ホール 藤ホール

花泉

柳斎場

花ホール いすみ館

柳

有限会社

本店 岩手県東磐井郡藤沢町保呂羽字二本柳124-1
〒029-3521 TEL 0191-63-3289
FAX 0191-63-3314
花泉店 岩手県一関市花泉町金沢字水門101
〒029-3102 TEL 0191-36-1070
FAX 0191-36-1071

おかげさまで
800ユーザー

一度覚えたたら忘れないほど簡単操作



「一如」ライト版

29,800円(税込)

■曹洞用語漢字変換辞書 ■墓地図製作 ■ホームページ制作 ■過去帳データ入力

★Stars★ 株式会社スターズコンピュータ

〒981-3111 宮城県仙台市泉区松森字刺松1-1 TEL 022-771-2897

檀家管理

一如

平成二十三年大震災活動報告

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災においては、東北地方太平洋沖地震とそれに伴つて発生した津波により県内では現在四千六百十四名の方が亡くなり、二百八十五名の方が未だ行方不明となつております。

(七月二十八日現在)

全体の活動といたしましては、五月三十一日に陸前高田市に於きまして田畠の瓦礫撤去を秋田県曹青と協力して行い、当青年会より二十二名の参加がありました。また、六月十四日には釜石市にて倒壊アパートの片付け、瓦礫の撤去を、秋田曹青協力のもと二十七名で作業を行いました。

更には、七月十一日、東日本大震災物故者追悼法要を県内四地区沿岸寺院を会場に一斉に行つてお

ります。前述の秋田県曹青のか各県よりご支援いただきおり、今後も継続的な活動が必要なわけではあります、が、震災半年ということで、現在までの活動を

そのような未曾有の大災害の中、当青年会では県内を以下四地区に分けそれぞれ救援活動を行つてまいりました

第一ブロック

久慈市・野田村

第二ブロック 宮古市・山田町

第三ブロック 釜石市・大槌町

第四ブロック 大船渡市・陸前高田町)

ご報告いたします。

第一ブロック(久慈・野田)

日 時	場 所	活 動 内 容	参 加 人 数
3月29日	野田村 集落センター	センター内瓦礫撤去作業	11名
3月31日	釜石市 旧第一中学校	秋田曹青による足湯の補佐	4名
4月14日	野田村	個人宅の瓦礫撤去	22名
4月20日	野田村 海蔵院避難所・えぼし荘	傾聴ボランティア(行茶)	12名
4月28日	野田村 海蔵院	大練忌法要	7名
5月13日	野田村 野田工業高校・野田中学校	傾聴ボランティア(行茶)	6名

その他 各地火葬場にて被災者火葬

第二ブロック(宮古・山田)

日 時	場 所	活 動 内 容
4月1日	宮古市 江山寺	本堂の片付け
5月12日	田野畠村 宝福寺 海岸二ヶ所	新潟県第四宗務所青年会と合同で慰靈法要
5月25日	宮古市 宝鏡院	埼玉県第7・8教区青年会とともに、ごま豆腐作り
5月26日	宮古市内避難所	炊き出し、ごま豆腐配布
5月31日	山田町	仮設住宅手伝い・支援物資仕分け
7月12日	山田町折笠地区	住居の瓦礫撤去作業
7月13日	宮古市 江山寺	本堂の片付け

第三ブロック(釜石・大槌町)

日 時	場 所	活 動 内 容
3月14日	釜石市 石応禅寺	物資搬入
3月16日	釜石市 石応禅寺 大槌町 吉祥寺	物資搬入
3月25日 ~4月13日	遠野市斎場	読経
3月27日 ~5月8日	大槌町斎場 遺体安置所4ヶ所	読経
3月30日	釜石市 石応禅寺	避難所引っ越しの手伝い
3月31日	釜石市 旧第一中学校 大槌町 吉祥寺	秋田県曹青の足湯の補佐
4月28日	釜石市 盛岩寺	合同葬
4月29日	大槌町 吉祥寺	合同葬
5月24日	釜石市内仮設住宅	山口県曹青の傾聴ボランティア(行茶)の補佐
6月7日	釜石市内仮設住宅	山口県曹青の傾聴ボランティア(行茶)の補佐
6月14日	釜石市	市内個人宅瓦礫撤去
6月17日	釜石市 石応禅寺	身元不明者合同供養
6月21日 ~22日	遠野市 慶雲寺 大槌町	新潟県曹青とともに、ごま豆腐作り ごま豆腐配布
6月30日	釜石市内仮設住宅	秋田県曹青の傾聴ボランティア(行茶)の補佐 物資搬入

第四ブロック(大船渡・陸前高田)

日 時	活 動 団 体	活 動 内 容	参 加 人 数
4月25日	第六教区有志	家屋内の清掃、片付け	7名
5月2日	禪修会(第六教区)	田畠の瓦礫撤去	5名
5月9日	禪修会(第六教区)	陸前高田ボランティアセンター休みの為	中止
5月17日	5・6・7・8・9教区合同	田畠の瓦礫撤去	14名
5月24日	5・6・7・8・10教区合同	側溝の泥上げ	10名
5月31日	岩曹青ボランティア 秋田曹青ボランティア	田畠の瓦礫撤去	20名 30名
6月9日	5・6・7・8・12教区合同	側溝の泥上げ	11名
6月18日		普門寺に於いて被災者卒哭忌法要	
6月23日	5・6・7・8教区合同	地震による津波注意報発令の為	中止
7月6日	5・6・7・8教区合同 禪興会(七教区)	田畠の瓦礫撤去	16名